

テーマ

木を愛し
木に親しみ
木をもって
社会に貢献しよう

●誠意
●情熱
●工夫

けや木

第64号

発行者

コイケモクザイグループ
小池木材（株）
小池商事（株）
ラミネート・ラボ（株）
トヤマハウジング（協）

創業155周年を迎えて

小池木材株式会社 社長 小池 徹

徹

このたび、小池木材株式会社は創業155周年という大きな節目を迎えることができました。明治の創業以来、一世紀半を超える長い年月の中で、今日まで事業を継続し、この記念すべき周年を迎えられましたことを大変感慨深く感じております。

これもひとえに、長年にわたりご愛顧いただいているお客様、お力添えをいただいているお取引先の皆様、地域社会の皆様、そして日々会社を支え続けてくださっている社員の皆様のおかげです。心より深く感謝申し上げます。

155年という歴史を振り返ると、社会は実に大きく変化してきました。明治、大正、昭和、平成、そして令和へと時代が移り変わる中で、戦争、災害、経済情勢の変動など、幾多の困難がありました。そのたびに先人たちは知恵を絞り、力を合わせ、一步一步前進しながら会社の礎を築いてこられました。その歩みがあったからこそ、今の私たちがあります。当社には、大切に受け継がれてきた言葉があります。

「木を愛し、木に親しみ、木をもって社会に貢献しよう」

この言葉には、私たちの仕事の本質が凝縮されています。木は単なる資材ではありません。木には温もりがあり、安らぎがあり、人の暮らしを支える力があります。住まいをつくり、街を育み、地域に豊かさをもたらす存在です。古来より日本人は木とともに生き、木の文化を育んできました。私たちは、その大切な木の価値を未来へつないでいく使命を担っています。

近年、環境問題への関心が世界的に高まる中で、木材の価値はあらためて見直されています。再生可能な資源である木材は、持続可能な社会づくりにおいて重要な役割を果たします。だからこそ、木に関わる私たちの仕事は、単なる商いを超え、社会への貢献そのものだといえるでしょう。

一方で、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少、価値観の多様化、原材料価格の変動、デジタル化の進展など、これまでにない課題が次々と現れています。この変化の時代を乗り越えるために必要なのが、当社の社員心得である

「誠意、情熱、工夫」です。

まず「誠意」。誠実な姿勢は信頼を生みます。お客様に対しても、仲間に対しても、真摯であることが、長く続く信頼関係の土台となります。

次に「情熱」。どんな仕事であっても、心を込めて取り組む人の力は周囲を動かします。困難な状況であっても、前向きに挑戦し続ける情熱が、会社の未来を切り拓きます。

そして「工夫」。時代が変われば、求められる価値も変わります。従来のやり方にとらわれず、より良い方法を考え続ける姿勢が、新しい可能性を生み出します。私は、この三つの心得こそが、155年続いてきた当社の強さの源泉であり、これから先の未来を支える力になると確信しています。

会社を支える最大の財産は人です。社員一人ひとりがそれぞれの持ち場で責任を果たし、互いを尊

重し、力を合わせることで、組織はより強くなります。皆さんの日々の努力が、会社の信用となり、未来への力となっています。

創業155周年は、単なる通過点ではありません。過去を振り返り、先人への感謝を胸に刻むと同時に、新たな未来へ踏み出す出発点です。160周年、170周年、そしてその先へ向けて、私たち自身が新たな歴史をつくっていかねければなりません。

「木を愛し、木に親しみ、

木をもって社会に貢献しよう」の精神を胸に、「誠意、情熱、工夫」を実践しながら、地域社会に必要とされる企業であり続けたいと思います。

今後とも、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



昭和34年頃事務所



現在本社事務所